

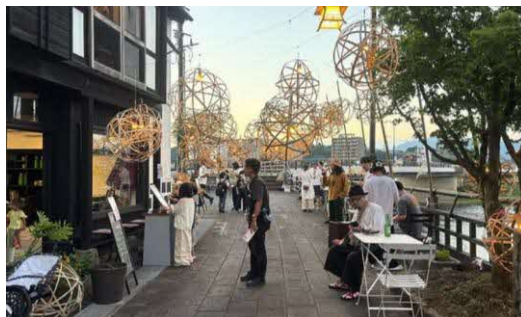
【資料 10】

社会実験を経て 常設化を目指す取組

球磨川テラス(左岸・御麴／りんどう前)

○イメージ(社会実験時の風景)

河川道路を人のための滞留空間へ。誰でも利用できるテーブル・ベンチ等の設置、イベント実施、河川道路の維持管理など。



○常設化に向けたプロセス

以下の制度設計・合意形成が行えるまで社会実験を延長する。社会実験終了時に、占用主体を民間に切り替える。

- ①道路・河川を定常的に活用するための制度設計
- ②定常的な交通規制(歩行者天国化)をするための合意形成



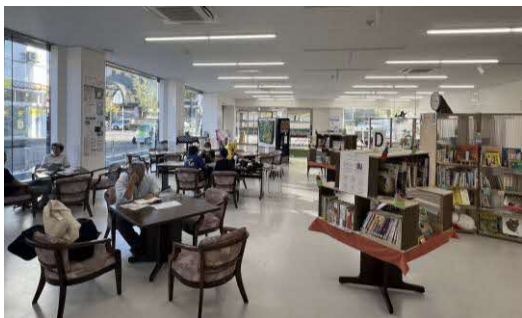
社会実験延長期間に道路・河川活用の制度設計および交通規制の合意形成を進める

常設化

まちなかサードプレイス・ひとはこ図書館 (肥後銀行人吉支店1階)

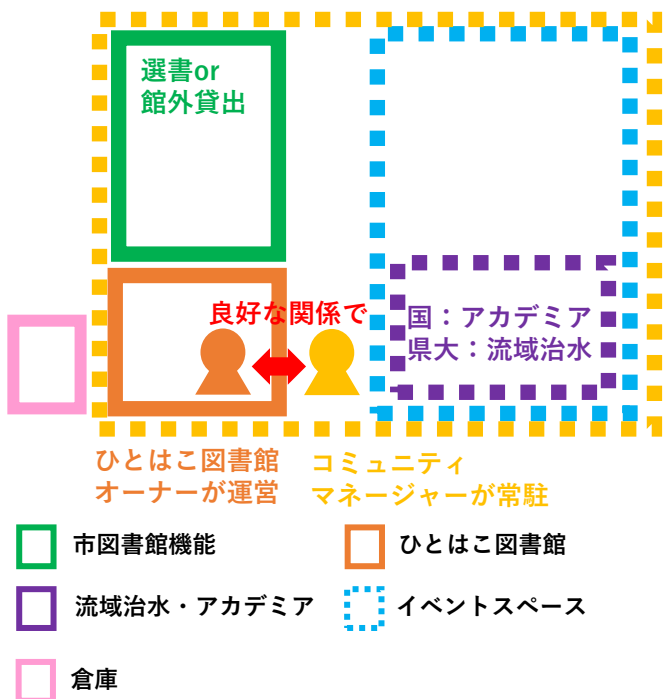
○イメージ(社会実験時の風景)

肥後銀行1階を活用し、市と民間の共同運営、図書機能を持つサードプレイスの常設化へ。



○事業イメージ

サードプレイス



○関わる主体の目的・役割のイメージ

- 各主体の目的・役割を合わせていく
- 人吉市：主体的に居場所運営に参画
- 市民有志：引き続き参画
- 県立大共創流域治水PJ：さらなる活動
- 八代河川国道事務所：球磨川の流域アカデミアを推進

取組による成果・課題を将来的に

- サードプレイス
- 図書館再編の方針に反映していく。

